

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年6月11日～6月17日)

平成 27 年(2015 年)6 月 19 日

H E A D L I N E S

政治

コパチ首相, 新閣僚3名他を発表
 市民プラットフォーム, 次期下院議長候補にキダヴァ=ブウォンスカ政府報道官を決定
 コパチ首相, 第2回EU-CELACサミットに出席
 ワルシャワにて第7回ポーランド・ウクライナ外務省高官会合を開催
 スヘティナ外相, イスラエル及びパレスチナを訪問
 米国が東欧諸国及びバルト諸国に対する重火器配備を検討
 スヘティナ外相の訪中

経済

5月のインフレ率は-0.9%
 ポーランド系移民の本国への送金が減少
 5月の平均賃金上昇率は3.2%
 経営者団体がポーランド・ブランドの育成に向け協力
 PESA社が50台のトラム車両をキエフに納入
 ポーランドのエネルギー効率が向上
 ポーランドは二酸化炭素排出を効率的に削減
 ポーランドでのシェールガス採掘は魅力を失っているか?
 電力会社の統合・再編はまだ先の話: 国有財産大臣

大使館からのお知らせ

交通違反に対する取締りの強化
 教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先: 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

コパチ首相、新閣僚3名他を発表【15日】

15日、コパチ首相は、10日に辞任を発表した3閣僚の後任として、マリアン・ゼンバラ保健大臣（非議員、心臓外科医）、アンジェイ・チェルヴィンスキ国有財産大臣（下院議員（市民プラットフォーム（PO））、アダム・コロル・スポーツ観光大臣（非議員、ボート選手）を発表した。また、同首相は、併せて、ビエルナツキ首相府国務次官（特殊機関調整担当、下院議員（PO））、ネムシ経済副大臣（下院議員（PO））、ドロタ・ニエチェラ環境副大臣（下院議員（PO））の人事

も発表した。3閣僚は16日に大統領府で行われた就任・宣誓式典を経て正式に就任した。

市民プラットフォーム、次期下院議長候補にキダヴァ＝ブウォンスカ政府報道官を決定【15日】

15日、与党・市民プラットフォーム（PO）は、キダヴァ＝ブウォンスカ政府報道官を10日に辞意を表明したシコルスキ下院議長の後任候補とすることを決定した。新下院議長は、6月23日～25日の下院において選出される予定。

外 交 ・ 安 全 保 障

コパチ首相、第2回EU－CELACサミットに出席【11日】

11日、コパチ首相はブリュッセルで開催された第2回EU－CELACサミット（ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体）に出席した。同出席に際し、コパチ首相は、ヴィシエグラド諸国（V4）首脳の会合を行った他、独、仏及びリトアニアの首相と個別会談を行い、6月の欧州理事会の議題を中心に意見交換した。

ダッラー首相との間でポーランド・パレスチナ関係及びポーランドの対パレスチナ支援等につき意見交換した。14日～15日、スヘティナ外相はイスラエルを訪問し、リヴリン大統領及びネタニヤフ首相と会談を行い、本年に国交回復25周年を迎えるポーランド・イスラエル関係、中東和平交渉再開の可能性、同交渉へのワイマール・トライアングル（ポーランド、独、仏）の関与の可能性等につき意見交換した。

ワルシャワにて第7回ポーランド・ウクライナ外務省高官会合を開催【11日】

11日、スヘティナ外相は、ワルシャワにてクリムキン・ウクライナ外相との間で第7回ポーランド・ウクライナ外務省高官会合を実施し、ポーランド・ウクライナ協力、ウクライナ情勢及び同国の改革実施、欧州統合、安全保障情勢等につき意見交換した。今次会合では、両国外務省間の2014年～15年の協力計画等の実施状況の確認が行われると同時に、2016年～17年の両国外務省官の協力プログラムへの署名、2015年～16年の要人往来計画の暫定的な設定等が行われた。

米国が東欧諸国及びバルト諸国に対する重火器配備を検討【14日】

米国は、3千～5千人規模の旅団のための戦闘戦車及び歩兵戦闘車を含めた重火器及び兵器倉庫をポーランド、バルト諸国、ブルガリア、ルーマニア、及びハンガリーに設置する計画を検討中であり、同内容は、シェモニャク副首相兼国防相が訪米時の5月19日にカーター国防長官と協議していたが、詳細は未決定。

スヘティナ外相、イスラエル及びパレスチナを訪問【13日～15日】

13日、スヘティナ外相は、パレスチナを訪問し、ハム

スヘティナ外相の訪中【17日】

17日、スヘティナ外相が北京を訪問し、両国間協力を進展させるための新しいメカニズムとして第一回「ポーランド・中国政府間委員会」が開催され、両国関係者の出席のもと、経済・貿易も含めた幅広い内容について協議された。

経 済

経 済 ・ 財 政 政 策

5月のインフレ率は－0.9%【15日】

中央統計局（GUS）によれば、5月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比で4月の同1.1%減より回復した0.9%減となった。前月比では4月の0.4%増から減少した0.0%。物価の回復は専門家の予測より遅いペースとなっており、食料品価格の上

昇率が低いことが要因としてあげられる。また、コアインフレ率は、前年同月比で0.4%、前月比で0.0%となっている。ポーランド政府は、2015年通年のインフレ率を通常予算案で1.2%と想定していたが、－0.2%に大幅修正している。

ポーランド系移民の本国への送金が減少【16日】

2015年のポーランド系移民の本国への電子送金は、前年より5億米ドル減少した75億米ドルとなる見込み。移住先に定住するポーランド人が増加していることが理由として考えられる。2014年にドイツからポーランドへの電子送金は23億米ドル、英国からは13億米ドル、米国からは10億米ドルであった。他方、ポーランドからの電子送金先はウクライナが最も多く3.75億米ドルで、全体では12億米

ドルとなっている。

5月の平均賃金上昇率は3.2%【17日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の平均賃金は、前年同月比で3.2%増、前月比で2.9%減となる4,002.16ズロチであった。また、5月の企業の雇用者数は、前年同月比で1.1%増、前月比で0.0%と変わらずの5,577,200人であった。

ポーランド産業動向

経営者団体がポーランド・ブランドの育成に向け協力【12日】

ポーランドの経営者団体、Lewiatan(民間経営者連盟)、KIG(商工会議所)、ポーランド経営者連盟等の経営者団体は、ポーランド・ブランドを育成するための基金を立ち上げた。マリノフスキ経営者連盟会長は、政府によるプロモーション不足によりポーランド産品の輸出価格が低下してしまった、と述べるとともに、品質は同等であるにもかかわらず、ポーランド製品よりもドイツ製品が高く売られていると指摘した。また、他の設立団体からは、この取組により、販売増を期待される声も聞かれた。まずは、ポーランド・ブランドを地域、欧州及び世界規模で整理し、ブランド確立に関心のある事業者、NGO や行政機関といった全ての

団体と協力することとしている。

PESA社が50台のトラム車両をキエフに納入【16日】

PESA社とウクライナ・キエフ市との間でキエフ市に50台のトラム車両を納入することに合意した。クリチコ・キエフ市長は、市内を走る450台程度のトラムの殆どは古い車両であり、市民が最新モデルの車両を利用できることになることに期待を寄せた。今回の合意は車両の納入だけでなく、キエフ市での組立工場の立ち上げを含む長期協力に関するものとなっている。車両納入及び工場の立ち上げは2015年末頃を予定しているという。

エネルギー・環境

ポーランドのエネルギー効率が向上【11日】

中央統計局の発表によれば、1996年と2013年を比較し、51%に減少したという。EUのエネルギー効率を図る指標であるODEX指標では2.4%であった。この結果に関し、ポーランド省エネルギー公社は、EUの中でポーランドは省エネルギーを順調に進めていることを示していると指摘している。ポーランドのエネルギー消費に関し、経済省によると、2002年から2012年の間に輸送部門とサービス部門でのエネルギー消費は増加したものの、家庭部門や農業部門に加え、産業部門では近代的な省エネ設備の導入等により減少したという。

最も削減幅の大きかったのは、スロヴァキア(同一4.1%)やデンマーク(同一10.7%)であった。

ポーランドでのシェールガス採掘は魅力を失っているか?【15日】

環境省による採掘ライセンスの発給が、数年前の急激な拡大に比べ最近少しずつ減少している。2015年6月1日の発給件数は45件。他方、同年5月1日は48件、昨年年12月31日は53件であった。現在14のポーランド及び海外の企業が採掘を進めているが、撤退も増えてきている。今月初頭にConocoPhillips社は満足のいく結果が得られなかったことから、ポーランドでの採掘終了を発表したほか、今年初頭のシェブロン社による撤退表明があった。

ポーランドは二酸化炭素排出を効率的に削減【16日】

ユーロスタットによれば、ポーランドは2014年の二酸化炭素排出量は2013年比で-5.3%を達成したという。EU全体では2013年比-5.0%であった。

電力会社の統合・再編はまだ先の話: 国有財産大臣【17日】

チェルヴィンスキ新国有財産大臣は、ラジオ番組の

インタビューで、現在のところ電力会社の統合・再編については、状況を整理する必要がある、まだ行う段階にないと述べた。また、ポーランドのエネルギー市場が他の欧州の電力市場とも競争力を持てるよう、スマートグリッドに関する法律の整備も必要であると

も述べた。電力会社の統合・再編について反対か、という質問に対しては、反対かどうかではなく、電力市場において最終需要者が守られることと企業間の競争の結果安価な価格で電力が供給されることであると信じていると述べた。

大使館からのお知らせ

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00，Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

交通違反に対する取締りの強化

国内における交通事故の増加に伴い、法律が改正され、5月18日より、飲酒運転やスピード違反を始めとする交通違反に対する取締りが格段に強化されました。強化された主な内容及び注意すべき点は下記のリンク先をご参照下さい。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/traffic.pdf>

教科書配布開始のお知らせ（平成27年度前期分）

現在、当館ホームページ上 <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho27.1semester.pdf>にて、平成27年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 展覧会：日本の織物展「The Beauty of Many Weaves/ Wielowatkowe Piekno」【6月2日（火）～9月13日（日）】

クラクフ市の日本美術技術博物館にて、日本の織物デザイン及び技術に関する展覧会が開催中です。

開催場所：クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl>

【開催中】 ポーランドの日本美術傑作展【6月18日（木）～8月9日（土）】

ワルシャワにて、ワルシャワ国立美術館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武器、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所：ワルシャワ，ワルシャワ国立美術館， Al. Jerozolimskie 3

詳細：

<http://www.mnw.art.pl/edukacja/programy-do-wystaw-czasowych/arcydziela-sztuki-japonskiej-w-kolekcjach-polskich/>

【予定】国際柔道選手権大会 ソラニカップ2015【6月20日(土)～21日(日)】

ノヴァスル市にて、スポーツクラブ「Olimp」主催による『国際柔道選手権大会 ソラニカップ 2015』が開催されます。

開催場所：ノヴァスル市，Hala Elektryka，ul Piłsudskiego 61

詳細：<https://www.facebook.com/events/1603729763193406/?ref=98>

【予定】水曜映画上映会「時をかける少女」【6月24日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「時をかける少女」が開催されます(日本語音声，英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので，参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 -584 -73 00，E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51，Warszawa)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)